

平成13年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成13年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成14年7月1日(月)～2日(火)にKKR広島において開催された。

この検討会には、試験関係者等計51名が参集し、前回春夏作検討会での未検討分を含め除草剤10薬剤(40

点)、生育調節剤9薬剤(21点)について、試験成績の報告後、慎重な検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次表に示すとおりである。

平成13年度 秋冬作野菜花き関係委託試験判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. MON-96A 液剤 グリホサートアソニウム塩 41% [日産化学工業]	タネキ	適用性 継 続	植調研究所、 和歌山農試、 兵庫淡路、 鳥根農試、 佐賀農試研白石 (5)	[露地普通; 一年生雑草全般] ・ 定植後 雑草生育期 25mL<2.5, 5, 10> 50 <2.5, 10> 畦間茎葉処理 対)ラウンドアップ 液剤 25mL<2.5>	実	実) [秋播露地移植; 一年生雑草全般] ・ 生育期 雑草生育期 (草丈30cm以下) 25～50mL<2.5～10L>/a (2.5～5Lは専用ノズル使用) 畦間茎葉処理。 注) 作物にかからないように 散布する。
2. SMC 油剤 クロルピクリン 40% 1,3-ジクロロプロペン 52% [エス・ディー・エス・ハイテック、三井化学]	野菜一般	適用性 継 続	長野野菜花き試、 和歌山農試、 兵庫中央農技、 大分農技 (4)	[秋播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植10～15日前 雑草発生前 2000, 3000mL 土壌灌注 対)クロルピクリン液剤 3000mL	実	実) [秋播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植前10～15日以前 雑草発生前 2000～3000mL/a 土壌灌注処理。 注) 処理後7～10日以上ビニル 被覆し、作付3～4日以前に 耕起によるカス抜きを十分 行う。
3. ZK-122 液剤 グリホサートカリウム塩 616g/L	野菜一般	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[秋播露地; 一年生雑草全般] ・ 耕起または播種・定植7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL<2.5, 5>, 50mL<2.5, 5>, 100mL<2.5> 対)ラウンドアップ ハイポート 液剤 25mL<5>	—	
	キャベツ	適用性 新 規	植調研究所、 兵庫中央農技、 鹿児島農試大隅 (3)	[秋播露地移植; 一年生雑草全般] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL<2.5, 5>, 50mL<2.5, 5> 対)ラウンドアップ ハイポート 液剤 25mL<5>	継	継) 効果、薬害の確認。
	ハクサイ	適用性 新 規	茨城農総研園研、 和歌山農試、 兵庫中央農技、 香川農試、 鹿児島農試大隅 (5)	[秋播露地移植; 一年生雑草全般] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL<2.5, 5>, 50mL<2.5, 5> 対)ラウンドアップ ハイポート 液剤 25mL<5>	継	継) 効果、薬害の確認。
	ダイコン	適用性 新 規	茨城農総研園研、 奈良農技、 兵庫中央農技 (3)	[秋播露地直播; 一年生雑草全般] ・ 耕起または播種7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL<2.5, 5>, 50mL<2.5, 5> 対)ラウンドアップ ハイポート 液剤 25mL<5>	継	継) 効果、薬害の確認。
[シンジエンタ シヤパン]						

A. 野菜関係除草剤 つづき

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
4. クロビ・クリン 錠剤 クロビ・クリン 70% [南海化学工業]	野菜一 般	適用性 新 規	奈良農技、 和歌山農試、 鹿児島農試大隅 (3)	[秋播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植17日前 雑草発生前 10, 15錠/m ² 土壌混和处理 10錠/m ² 土壌表層処理 対)クロビ・クリン液剤 3000mL/a 土壌灌注	継	継) 効果、薬害の確認。
5. プロビ・サミト [®] 水和剤 プロビ・サミト [®] 50% [タケカミル日本]	タマネギ	作用性 継 続	植調研究所 (1)	[秋播露地移植; 一年生雑草全 般(ヤコ科、ヤツクサ科を除く)] ・ 定植活着後 雑草発生前 20, 30, 40g <10> 全面土壌処理	実	実) [秋播露地移植; 一年生雑 草全般] ・ 定植活着後 雑草発生前 20~40g<10L>/a 全面土壌処理。 注) 露出した根にかかると薬 害をおこす場合がある。
		適用性 継 続	長野野菜花き試、 兵庫淡路 (2)	[秋播露地移植; 一年生雑草全 般(ヤコ科、ヤツクサ科を除く)] ・ 定植活着後 雑草発生前 20, 30, 40g <10> 全面土壌処理 対)一任		

B. 平成13年度 春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. MON-96A 液剤 グリホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	タネ	適用性 継 続	新潟農総研園研、 栃木農試黒磯、 鹿児島農試大隅 (3)	[露地移植; 一年生雑草全般] ・ 生育期 雑草生育期 25mL<2.5, 5(専用ノズル), 10> 50mL<2.5(専用ノズル), 10> 畦間茎葉処理 対)ラウンドアップ [®] 液剤 25mL<2.5(専用ノズル)>	実	・ 前回判定済。
2. NH-007 フロアブル剤 ピラフルフェンチル 0.16% グリホサートイソプロピルアミ ン塩 30% [日本農薬]	キャベツ	適用性 継 続	奈良農技、 広島農技、 香川農試三木 (3)	[露地移植; 一年生雑草全般] ・ 耕起または定植7日以前 雑 草生育期(草丈30cm以下) 40, 50, 60mL<10> 全面茎葉処理 対)ブリク [®] ロックスL液剤 60mL<10>	実	・ 前回判定済。
	ダイコン	適用性 継 続	奈良農技、 香川農試三木 (2)	[露地直播; 一年生雑草全般] ・ 耕起または播種7日以前 雑 草生育期(草丈30cm以下) 40, 50, 60mL<10> 全面茎葉処理 対)ブリク [®] ロックスL液剤 60mL<10>	実	・ 前回判定済。

B. 平成13年度 春夏作分 野菜関係除草剤 つづき

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
3. SMC 油剤 クロルピクリン 40% 1,3-ジクロロプロペン 52% [エステーエス、三井化学]	野菜一般	適用性 継 続	広島農技 (1)	[露地普通; 一年生雑草全般] ・ 播種、定植10～15日前 雑草発生前 2000mL 土壌灌注処理(処理後ビニール被覆→7～10日後ビニール除去、カス抜き→3～4日放置→作付け) 対)クロルピクリン液剤 2000mL	実・継	実) [春～夏播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植前10～15日前 雑草発生前 3000mL/a 土壌灌注処理。 注) 処理後7～10日以上ビニール被覆し、作付3～4日以前に耕起によるカス抜きを十分行う。 継) 低薬量での効果の確認。
4. プロビサミド水和剤 プロビサミド 50% [ダウケミカル日本]	ブロッリー	適用性 継 続	茨城農総試園研 (1)	[露地移植; 一年生雑草全般 (キク科、カヅリガサ科を除く)] ・ 定植活着後 雑草発生前 20, 30, 40g <10> 全面土壌処理 対)一任	実	・ 前回判定済。

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. SMC 油剤 クロルピクリン 40% 1,3-ジクロロプロペン 52% [エステーエスハイテク、三井化学]	花き一般	適用性 継 続	茨城農総試園研、 広島農技、 福岡農総試園研 (3)	[秋播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植10～15日前 雑草発生前 2000, 3000mL 土壌灌注 対)クロルピクリン液剤 3000mL	実・継	実) [秋播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植前10～15日前 雑草発生前 2000～3000mL/a 土壌灌注処理。 注) 処理後7～10日以上ビニール被覆し、作付3～4日以前に耕起によるカス抜きを十分行う。 継) 効果、薬害の確認。

D. 野菜関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. GP-011 液剤 GA ₃ 1% n-Proryl dihydrojasmonate 1% [GP研究会(事; 日本ゼン)]	イチゴ(とよのか)	適用性 継 続	長崎農林試、 大分農技 (2)	[促成栽培; 果柄伸長、果実肥大、熟期の促進] ・ 頂果房の出蕾直後～開花直前 1500, 2000, 3000倍 <10mL/株> 茎葉処理 対)GA ₃ 10ppm <5mL/株>	実・継	実) [促成栽培; 果柄伸長促進] ・ 頂果房の出蕾直後 1500～2000倍<10mL/株> 茎葉処理。 継) 果実肥大、熟期促進効果の確認。 3000倍での果柄伸長促進効果の確認。
	イチゴ(とよのかを除く)	適用性 新 規	奈良農技、 長崎農林試、 大分農技 (3)	[促成栽培; 果柄伸長、果実肥大、熟期の促進] ・ 頂果房の出蕾直後～開花直前 1500, 2000, 3000倍 <10mL/株> 茎葉処理 対)GA ₃ 10ppm <5mL/株>		

D. 野菜関係生育調節剤 つづき

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
2. KUH-833F(L) 7077 [®] 剤 プロヘキシ [®] オンカルシウム塩 1% [クミアイ化学工業]	イチゴ	適用性 継 続	福岡農総試験研 (1)	[促成栽培; 低温暗黒処理にお ける草丈の抑制] ・ 低温暗黒処理7日前〜当日 200倍 <5, 10mL/株> 500倍 <5, 10mL/株> 茎葉処理	実	実) [促成栽培; 低温暗黒処理 における徒長防止効果] ・ 低温暗黒処理7日前〜当日 200〜500倍<5〜10mL/株> 茎葉処理. 注) 定植後の生育が緩慢な地 域では、水量10mL/株は減 収する場合がある。

E. 平成13年度 春夏作分 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. KT-30S 液剤 ホルクロルフェニロン 0.1% [協和発酵工業]	アスパラ ガス	適用性 新 規	群馬園試中山間 (1)	[促成、半促成栽培; 品質向上] ・ 70%程度萌芽時 1、2ppm <萌芽若茎当たり約 1mL> 散布	継	・ 前回判定済。
2. KUH-833F(L) 7077 [®] 剤 プロヘキシ [®] オンカルシウム塩 1% [クミアイ化学工業]	イチゴ	適用性 継 続	茨城農総試験研、 愛知農総試験研、 長崎農林試 (3)	[促成栽培; 育苗時の草丈抑制] ・ 育苗期 定植30〜50日前 300倍<5, 10mL/株> 茎葉処理	実 ・ 継	実) [促成栽培; 育苗時の伸長 抑制] ・ 定植前30〜50日前後 500倍<5〜10mL/株> 茎葉処理. 継) ・ 300倍での効果、薬害の確認。
	イチゴ	適用性 継 続	奈良農技、 静岡海岸砂丘地、 福岡農総試験研 (3)	[促成栽培; 生育後期の草丈抑 制] ・ 葉柄徒長期(3月中旬) 400倍, 600倍<15〜25mL/株> ・ 2月中旬→3月中旬→4月中旬 400倍→400倍→400倍, 600倍→600倍→600倍 <15〜25mL/株> 茎葉処理	実 ・ 継	実) [促成栽培; 生育後期の伸 長抑制] ・ 葉柄徒長期(3月) 1回処理 600倍<10〜25mL/株> 茎葉処理. ・ 葉柄徒長期(2〜4月) 1ヶ月毎 2〜3回処理 600倍<10〜25mL/株> 茎葉処理. 注) 抑制の程度に応じて散布 回数を調節する。 継) 400倍の収量に及ぼす影響 について。
3. S-327D 液剤 ウニコゾ [®] ールP 0.025% [住友化学工業]	キャベツ	適用性 新 規	三重農技、 長崎農林試 (2)	[露地移植; 育苗時の伸長抑制] ・ 播種後 出芽前 250, 500, 1000倍 <50, 100mL/トレイ> 土壌処理 対) スミセ [®] P液剤 2葉期 500倍 <50mL/トレイ> 茎葉処理	実	・ 前回判定済。

E. 平成13年度 春夏作分 野菜関係生育調節剤 つづき

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
3. S-327D 液剤 つづき	レタス	適用性 新 規	香川農試 (1)	[露地移植; 育苗時の伸長抑制] ・ 播種後 出芽前 250, 500, 1000倍 <50, 100mL/トレイ> 土壌処理	継	・ 前回判定済.
		適用性 継 続	香川農試 (1)	[露地移植; 育苗時の伸長抑制] ・ 子葉展開期 250, 500, 1000倍 <50, 100mL/トレイ> ・ 本葉2葉期 250, 500, 1000倍 <50, 100mL/トレイ> 茎葉処理	実・ 継	・ 前回判定済.
4. YM-1 液剤 有機酸ミネラル 30% [吉沢石灰工業]	トマト	作用性 新 規	茨城農総試園研 (1)	[施設栽培; 品質向上] ・ 生育中期から収穫1週間前ま で週1回散布 100倍 全面茎葉散布	—	
5. ジベレリン 水溶剤 ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究 会(事: 協和発酵)]	アスパラ ガス (セル苗)	適用性 継 続	花・野菜技セ、 植調北海道、 長野野菜花き試 (3)	[カリン露地普通(セル苗); 生育促 進(立茎数の増加)] ・ 定植直前 100ppm 茎葉処理	継	(継) 効果の確認.

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. KUH-833F(L) フロアブル剤 ブホキサジエンカルシウム塩 1% [クマイ化学工業]	ストック	適用性 継 続	長野野菜花き試、 鳥取園試 (2)	[開花促進] ・ 葉数10~14枚時→その7~10 日後 1000倍(10ppm) <10L/a> 500倍(20ppm) <10L/a> 茎葉処理	実	実) [開花促進] ・ 葉数10~14枚時→その7~10 日後の2回散布 10ppm(1000倍) <10L/a> 茎葉処理.

G. 平成13年度 春夏作分 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. SB-714 乳剤 ジクロロシイプロピルエー テル 80% [エステー・イエス・イオテック]	キク	適用性 継 続	愛知農総試園研 (1)	[挿し木後の発根促進] ・ 挿し木時 1000, 2000, 3000倍 挿木基部浸漬処理(3時間)	継	・ 前回判定済.